

解体されゆくアントニン・レーモンド建築 旧体育館の話

オノマリコ

登場人物

息吹 女子学生 (英米文学部)
敬虔 女子学生 (英米文学部)
奔放 女子学生 (日本文学部)
哲学 女子学生 (哲学部)
癩癩 女子学生 (文科二類)
沈黙 女子学生 (英米文学部)
平穏 女子学生 (英米文学部)
飴玉 女子学生 (英米文学部)
永遠 女子学生 (史学部)

〈戯曲を読むにあたって〉

・「#」でシーンを区切っている。なので、「#1」、「#2」というように次のシーンへと展開する。

・登場人物の一人、永遠の名前は戯曲の終盤で明かされる。上演の際には、事前に彼女の名前だけは伏せておくことが望ましい。(例えば登場人物表などで表記しない、など)

・この戯曲は大学を舞台にしているが、「コールドバレエ」を演劇化することを目標にして取り組んだ。コールドバレエとはバレエの群舞のこと。蛇足かもしれないが、読者の参考になればと思い、付け加えておく。

#1

美しい場所。

音楽。

そこに女子学生たちがいる。

彼女たちは骨董品のように眠っている。

やがて一人、永遠が目を覚ます。

もしくは、訪れる。

永遠 息吹

息吹、目を覚ます。

息吹 敬虔

敬虔、目を覚ます。

敬虔 奔放

奔放、目を覚ます。

奔放 哲学

哲学、目を覚ます。

哲学 癩癩

癩癩、目を覚ます。

癩癩 沈黙

沈黙、目を覚ます。

沈黙 平穩

平穩、目を覚ます。

平穩 飴玉

飴玉、目を覚ます。

飴玉 (息吹にむかつて) 息吹

息吹 (敬虔にむかつて) 敬虔

敬虔 (奔放にむかつて) 奔放

奔放 (哲学にむかつて) 哲学

哲学 (癩癩にむかつて) 癩癩

癩癩 (沈黙にむかつて) 沈黙

沈黙 (平穩にむかつて) 平穩

平穩 (飴玉にむかって) 飴玉!

女子学生たち、笑いあう。

敬虔・哲学 校舎を見てここに決めました。ここで勉強したいと思いました。勉強を
奔放 美しかった。正門をくぐるとこう芝生が広がっていて

沈黙・平穩 その周りにぐるりと校舎が、左右対称に

永遠 シンメトリーに

息吹 ビルディングみたいなの、他の学校とはちがっていました

癩癩 お金がないだけかも

飴玉 かわいい学校

哲学 ちがっていました

息吹 門をくぐると、芝生が広がっていて

敬虔 すぐ右に教会

奔放 左は事務局

哲学 (右、教会奥) 一号館、東館、小教室

癩癩 (正面、芝生奥) 二号館、講堂、大教室

沈黙 (左、事務局奥) 三号館、西館、小教室

平穩 芝生には池があつて、金魚みたいなものが泳いでいました

飴玉 よく猫が来ました。ふとちよの、ぶすな猫。きっと金魚を食べていました

永遠 ここまでが門をくぐって目に見える場所

哲学 ここで勉強したい

平穩、哲学に話しかける。

平穩 真面目だね。あなた

哲学 はい?

平穩 勉強する気でここに来たんだ

哲学 はい

平穩 そんな人めったにいないよ

哲学 ……じゃあ何をしにここへ来るんですか?

学生たち。

息吹 三号館の奥に体育館がありました。旧体育館、ちいさな体育館でした

敬虔 その隣に新体育館がありました。バレーボールやバスケットボールのサークルは主
にこちらを利用していました

奔放 社交ダンスやバレエ、ジャズなどのダンス系のサークルは旧体育館を使っていまし
た

哲学 小さな、きれいな、建物でした
癩癩 古びた、二階建ての建物でした
沈黙 旧体育館のさらに奥、図書館がありました
平穩 その向こう、学生寮がありました。
飴玉 そのちよつと手前、カフェテリアと購買がありました
永遠 それらが門をくぐっただけでは目に見えない場所

息吹、永遠に話しかける。

息吹 あなた
永遠 (驚いて息吹を見る)
息吹 何学部？
永遠 ……時間
息吹 ん？
永遠 時間を勉強する、学部
息吹 史学部？ぴったり
永遠 そう？
息吹 いいよね、歴史。ちよつと悩んだ。結局英文だけどね、募集多かつたから
永遠 名前は
息吹 ん？
永遠 あなた、名前
息吹 ああ。息吹
永遠 ……息吹
息吹 そう。息吹
永遠 いい名前
息吹 ありがとう
永遠 どういたしまして
息吹 あなたは？
永遠 ……
息吹 名前
永遠 また会えるかわからないから
息吹 え？
永遠 人は人の顔を忘れるし、声も忘れるし。わたしとあなた、学部もちがうし、また会えたってわからないかもしれないから

永遠、立ち去る。

息吹 ネガティブ

入学式の日。各所で入学式の風景が演じられる。
奔放、敬虔、息吹に話しかける。

奔放 なあにやってんの？息吹

息吹 軟派して、振られた

敬虔 どんな子

息吹 変な子

奔放 変わった子？

息吹 変な子

奔放 それどうして軟派した？

息吹 だって変な子だよ？

敬虔 教室、行くよ

奔放 連れてってやって

敬虔 入学そうそう振られるなんて、かわいそうにね、息吹

教室。哲学、自己紹介をしている。

哲学 哲学です。名前が哲学。もう一度言います。名前が哲学。ちよつとすごい付けられちゃったなあって思ってます

飴玉、走ってきて沈黙の前で止まる。

飴玉 同じ学部の人だよ

沈黙 ……

飴玉 (自分を指して) わかる？

沈黙、うなづく。

飴玉 わたし、飴玉

沈黙 (うなづく)

飴玉 先生の話聞いてた？わたし寝ちゃった。ねえ、意味わかんないんだけどさ、シラバスってなに？

癩癩、歩いている。

癩癩 ……

哲学、自己紹介の続き。

哲学 この学校に来たのは、あの、四年間すっかり学べるような、そんな環境だっ
て、だからです。あの、なにを学ぶかはまだ決めてないんですけど

癩癩 くだらない

哲学 一生に一度くらい、机にしがみついてなにかをするのもいいって、思って。わか
ないですけど。いいって思って。とにかく、楽しみです。よろしくお願いします

平穩と永遠、話している。

平穩 今年も変わり映えないねえ

永遠 そう？

平穩 なんかあった？

永遠 さあ

平穩 (寝転がって) まあいいよ、なんでもね

永遠 少しは身体、動かしな

平穩 春は眠いんだよ

永遠 あつという間に夏が来るよ

平穩 秋が来て、冬が来て、あつというまに春に戻るよ

永遠 新入生がきたばかりなのに

平穩 新しいものに期待はしない。古いものに囲まれてればいい。そういうタイプなんだ

永遠 忘れられちゃうよ

平穩 パンと牛乳よりご飯とお味噌汁

永遠 なにそれ

平穩 朝ごはん

永遠 忘れられちゃうよ

平穩 だって平穩だからね。わたしは平穩だから

鐘の音。

永遠 ……存在と時間

平穩 なあに、それ

永遠 わたしの、朝ごはん

鐘の音が続く。